

かまくら作り体験

大立
立つ
県雪
大瀧村 宮城大からも参加

県立大の学生たちが雪

国ならではの遊びを体験する「雪まつり」が十六日、大瀧キャンパス「フ

ールド教育研究センター」で行われた。約五十

人の学生が参加し、かまくら作りやクロスコント

リーなどを楽しんだ。

まつりは「遊び」をキーワードに実体験を通

じて学生の行動力や社会性などを養う同大学の学生

支援プログラム「薫風・満天フィールド交流塾」

の活動の一つ。昨年十二月の開塾以来、「ハタハ

タずしの製造体験」など五回の活動を行っている

が、今回初めて他の大学にも呼び掛けたところ、

宮城大の学生五人も参加

かまくら作りでは、学生たちが汗だくになって

作業。敷地内の雪を積み上げ、スコップで固め形

を整えながら高さ約二層のかまくらを仕上げた。

宮城大一年の小泉孝太さん（左）は「他の大学がど

んな活動をしているか興味があり参加した。雪遊びを通して交流を図って

いきたい」と話した。

このほか学生たちはク

ロスコントリ

ー、スノーモ

ービル、かん

じき、石焼き

料理作りなど

も体験。両大

学の自然や農

業などを学習

するサークル

の発表や意見

交換も行わ

れ、交流を深

めた。

かまくら作

りを体験す

る県立大の

学生ら

